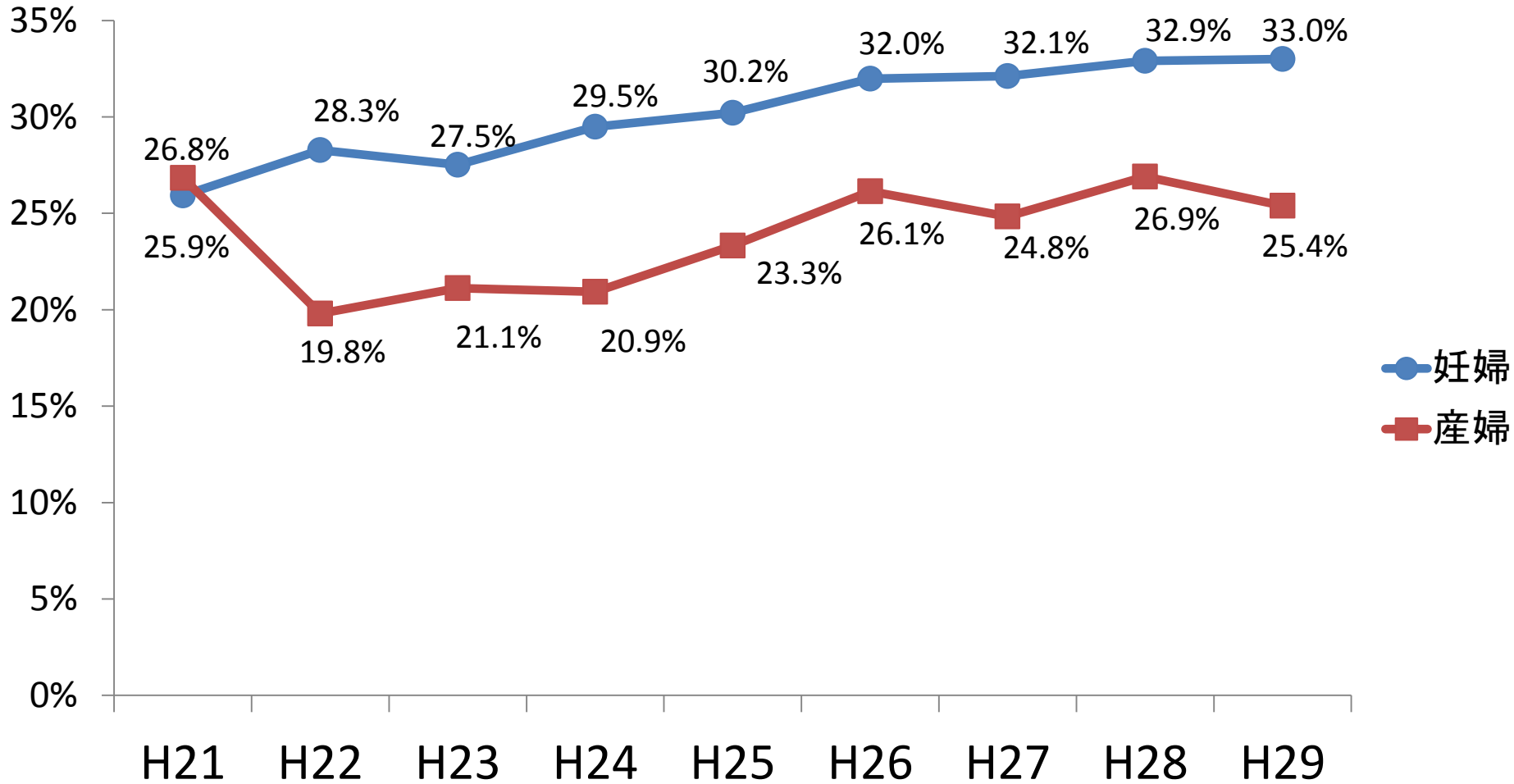


# 千葉市民の歯・口腔等の状況

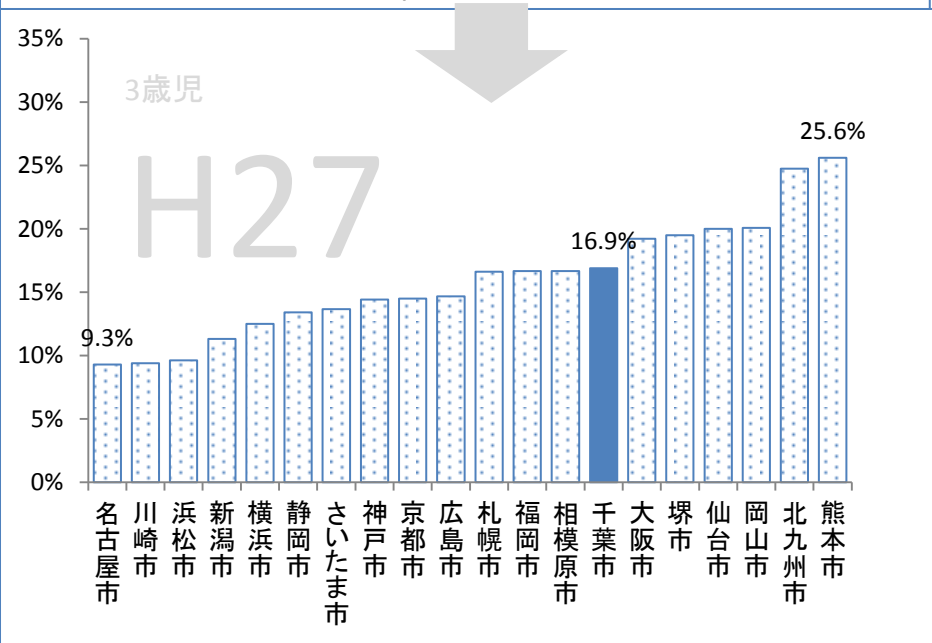
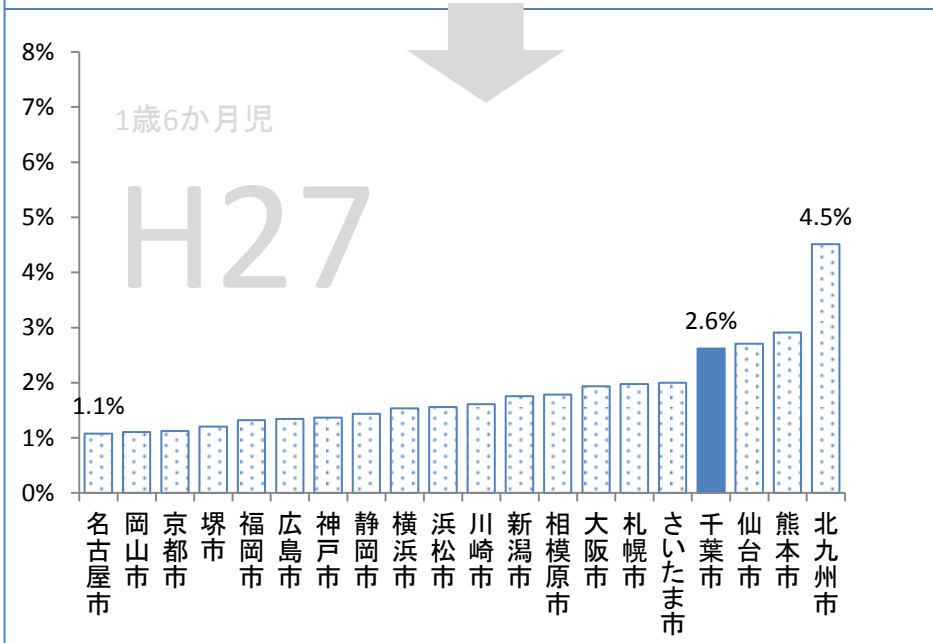
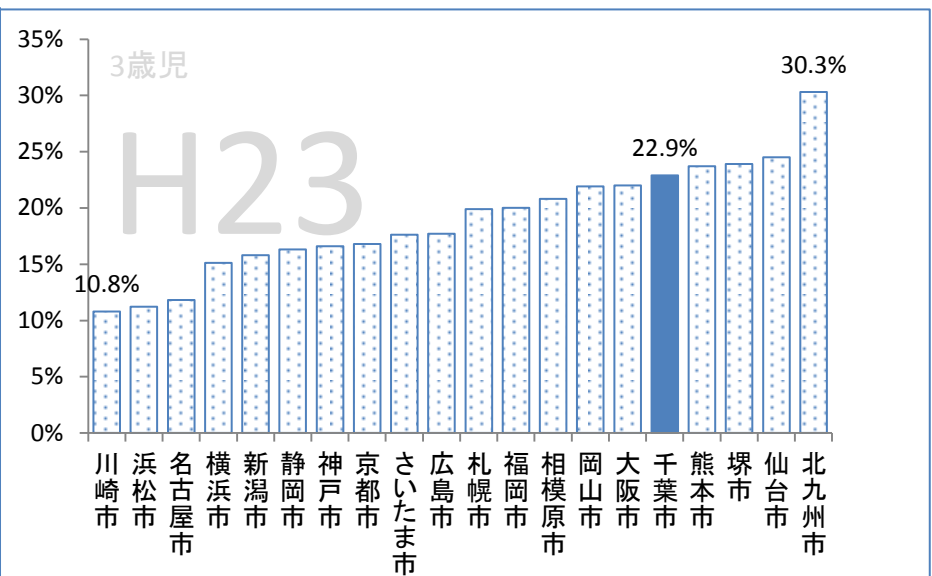
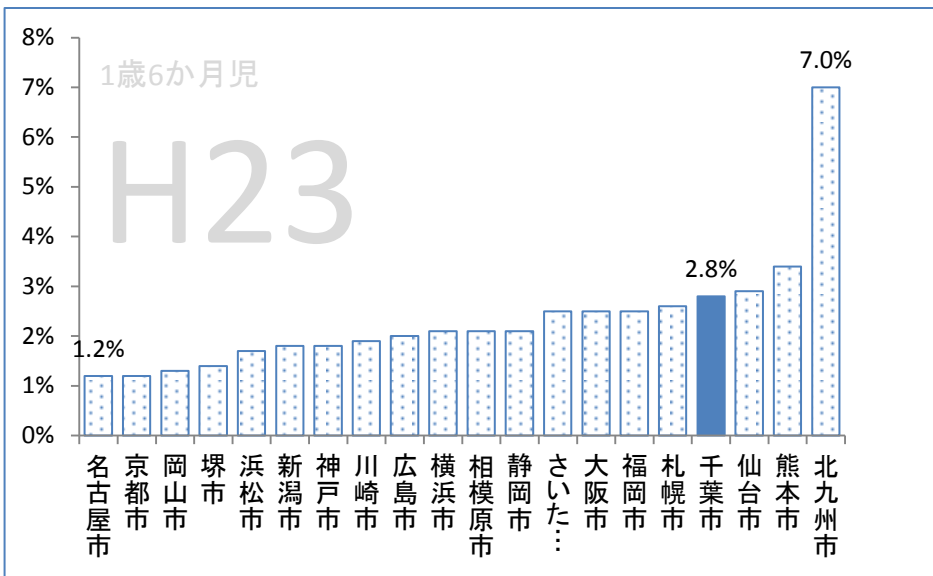
1. 妊産婦歯科健診受診率年次推移
2. 1歳6か月児・3歳児う蝕有病者率
3. 3歳児フッ化物歯面塗布経験者の年次推移
4. 12歳児の1人平均う蝕歯数と歯ぐきに異常がある者の割合
5. 歯周病検診受診率の年次推移
6. 進行した歯周炎を有する者の割合
7. 歯間部清掃用具を使用している者の割合
8. 口腔体操の認知度
9. 誤嚥性肺炎予防の認知度
10. 千葉市介護予防事業

# 1. 妊産婦歯科健診受診率年次推移（H.21～H.29年度）



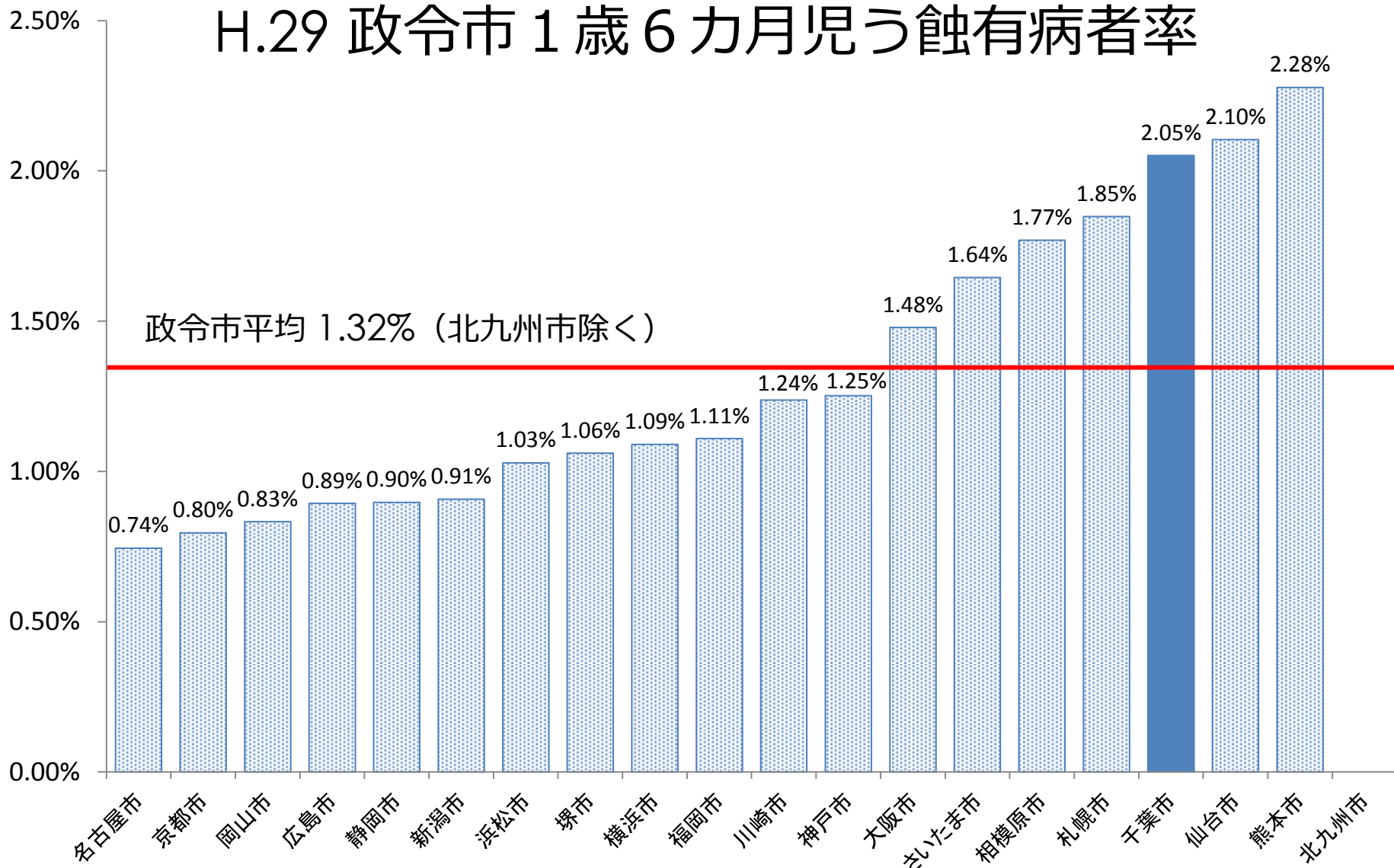
○妊婦・産婦歯科健診とも受診率は増加傾向にある。

## 2. 1歳6か月児・3歳児う蝕有病者率(H23・H27 政令市比較)



## 2. 1歳6か月児・3歳児う蝕有病者率

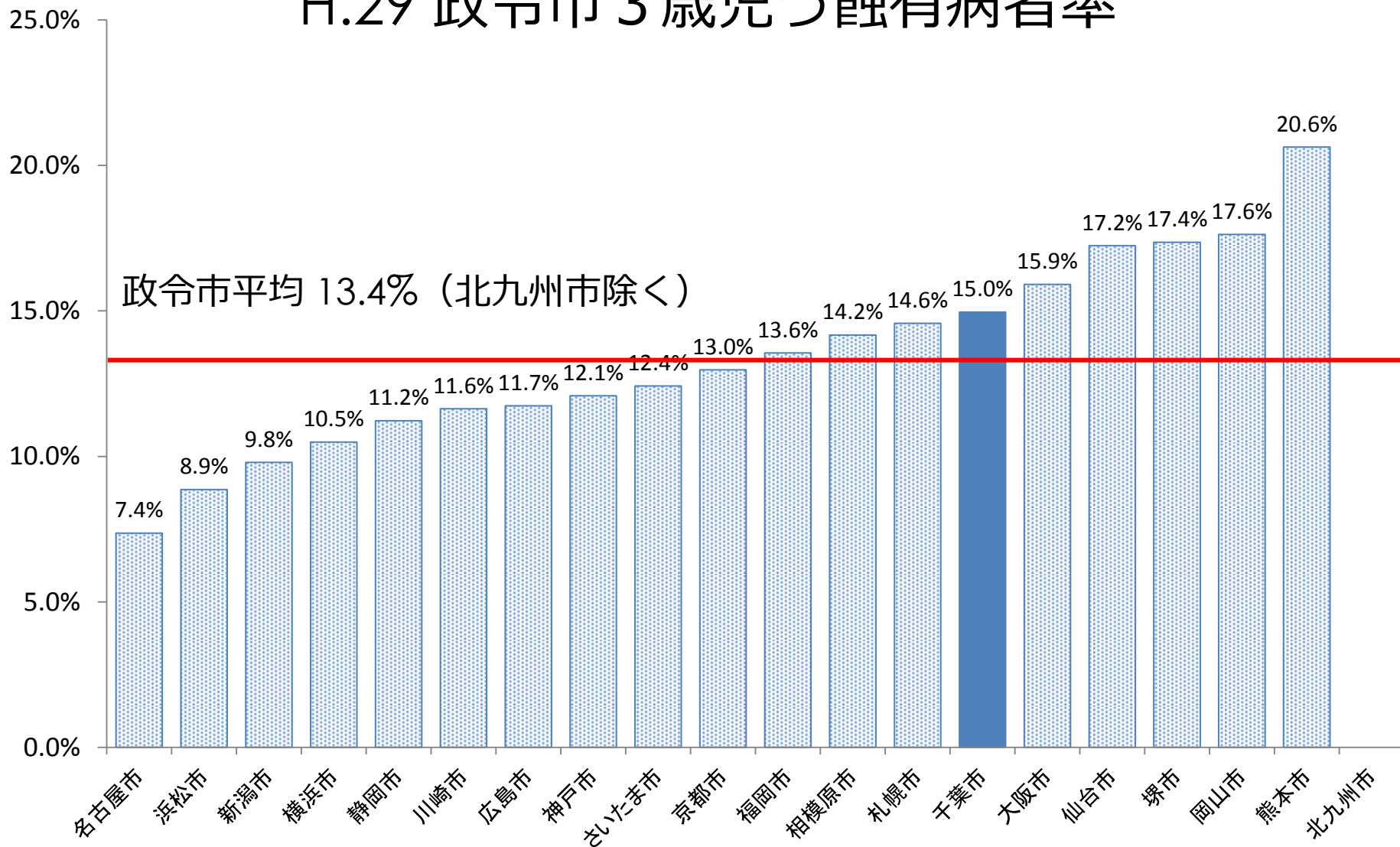
### H.29 政令市1歳6か月児う蝕有病者率



※北九州市は集計中のためデータ未公表

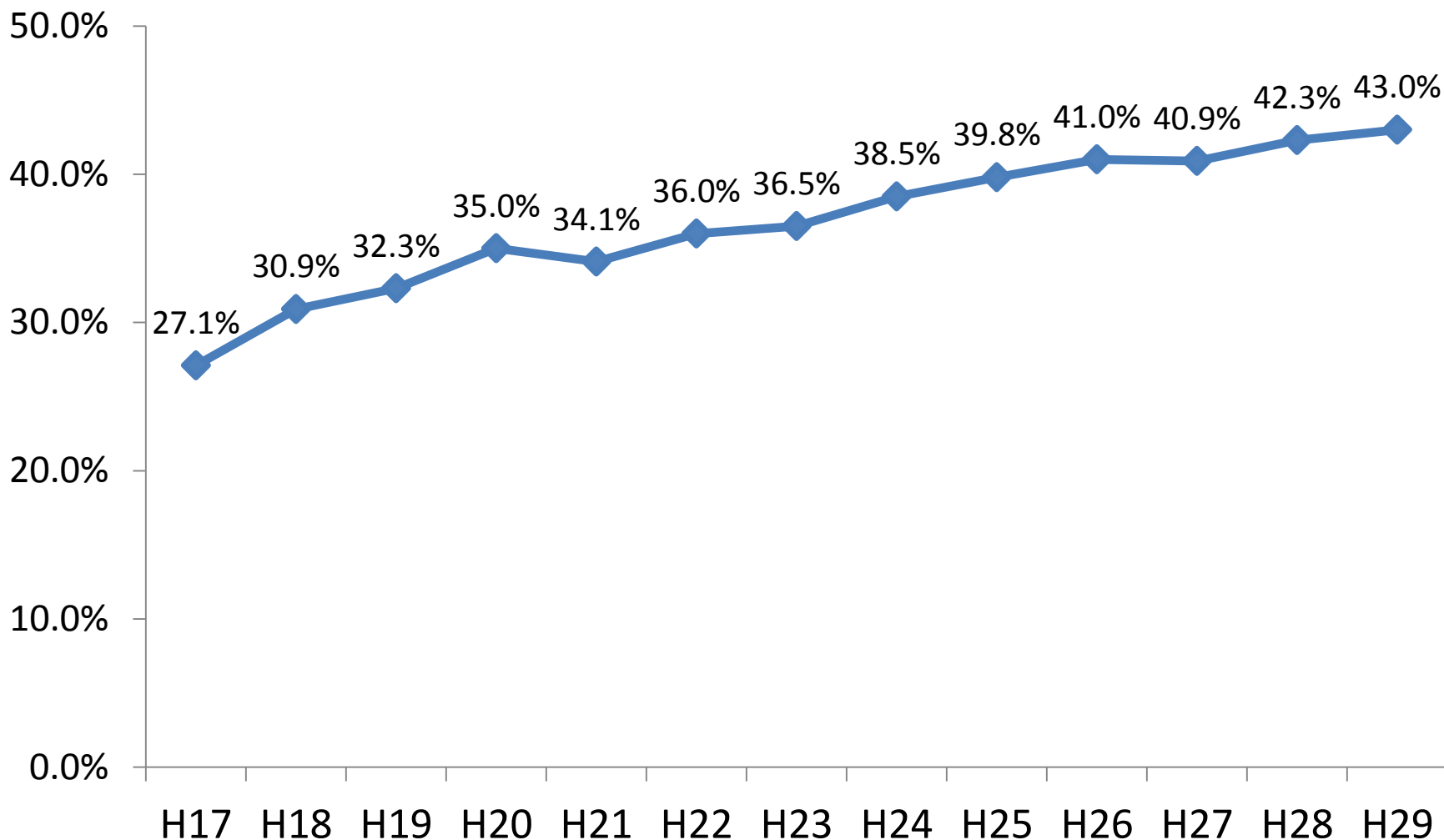
## 2. 1歳6か月児・3歳児う蝕有病者率

### H.29 政令市 3歳児う蝕有病者率



※北九州市は集計中のためデータ未公表

### 3. 3歳児フッ化物歯面塗布経験者の年次推移 (H.17~H.29)

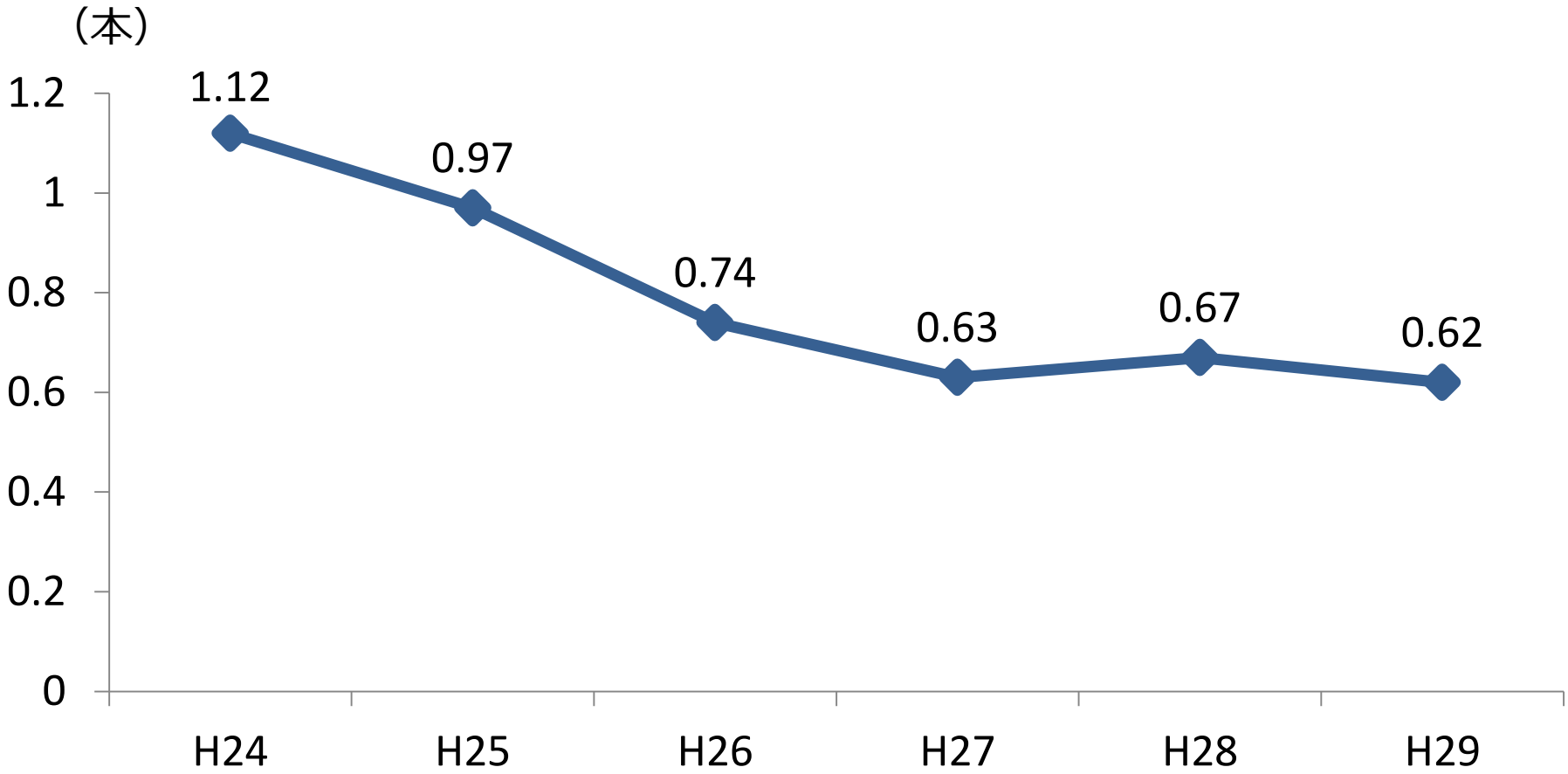


○フッ化物歯面塗布経験者は年々増加している。

H17~H29年度千葉県3歳児歯科健康診査問診票集計結果  
※1 H25年度はH25.5.1~H25.8.15の調査

# 4. 12歳児の1人平均う蝕歯数と歯ぐきに異常がある者の割合

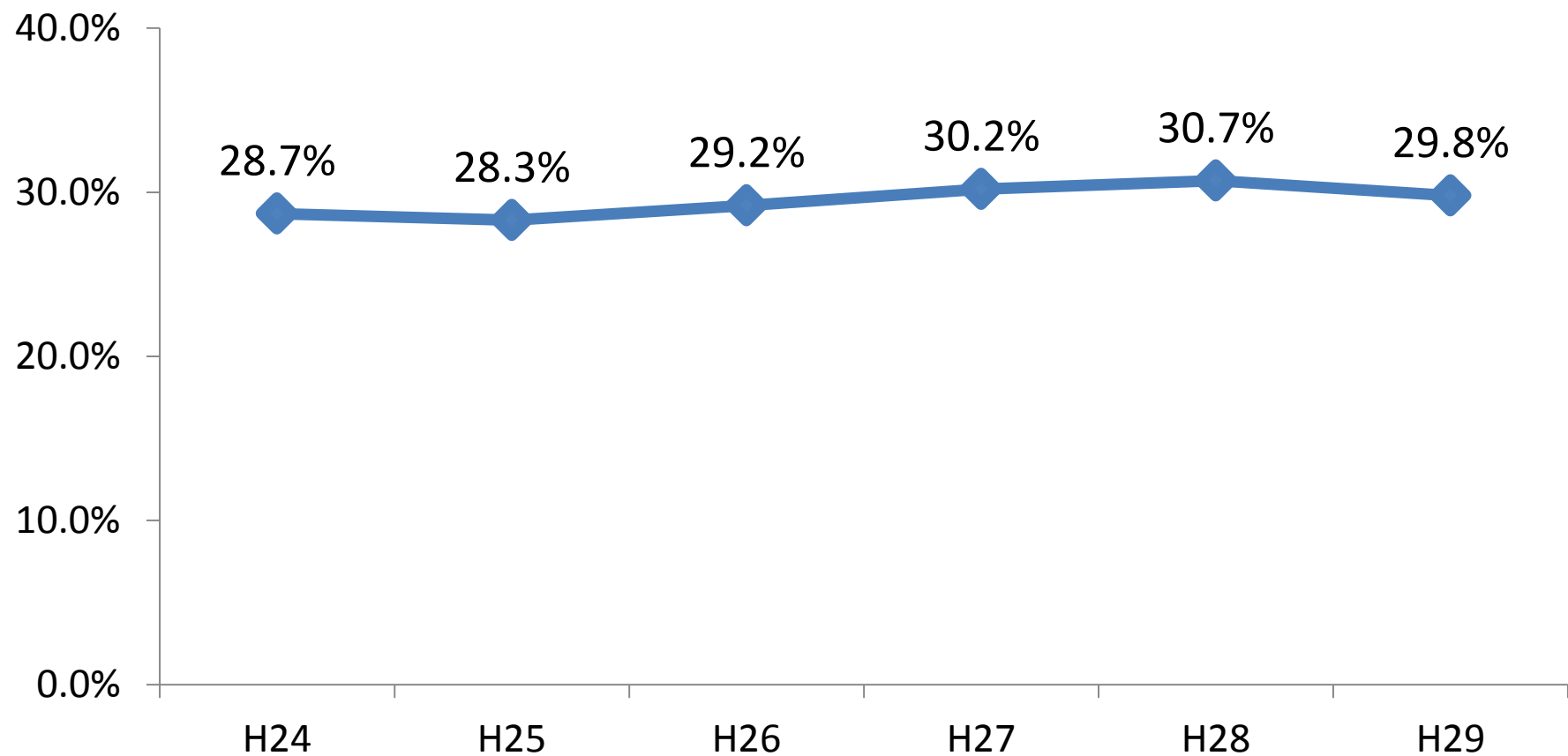
## H24~H29年度 12歳児の1人平均う蝕歯数



○う蝕歯数は減少傾向にある。

## 4. 12歳児の1人平均う蝕歯数と歯ぐきに異常がある者の割合

H24～H29年度 12歳児の歯ぐきに異常がみられる者の割合

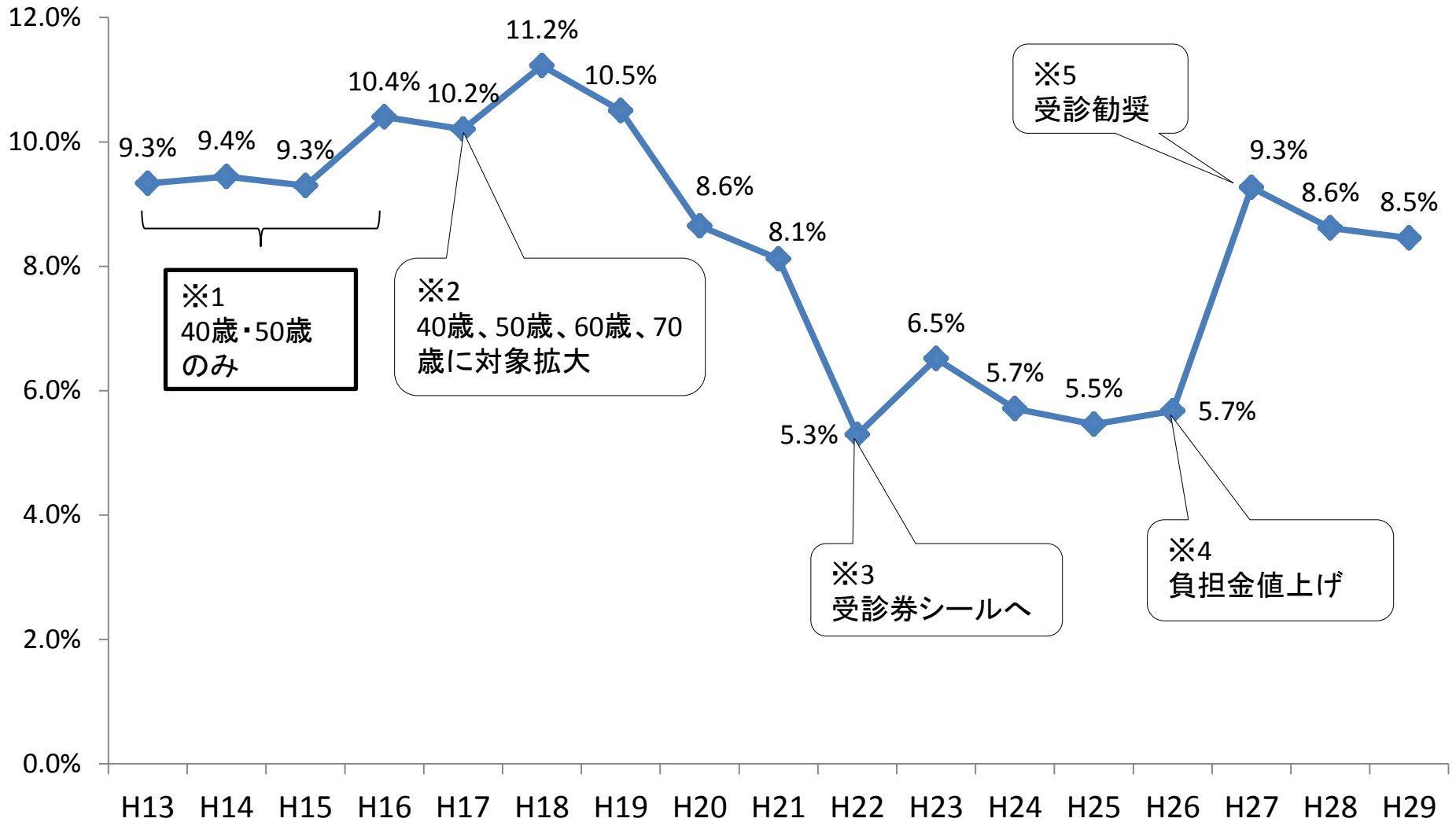


○歯ぐきに異常がみられる者の割合は、H24年度からほとんど変化のない状況にある。



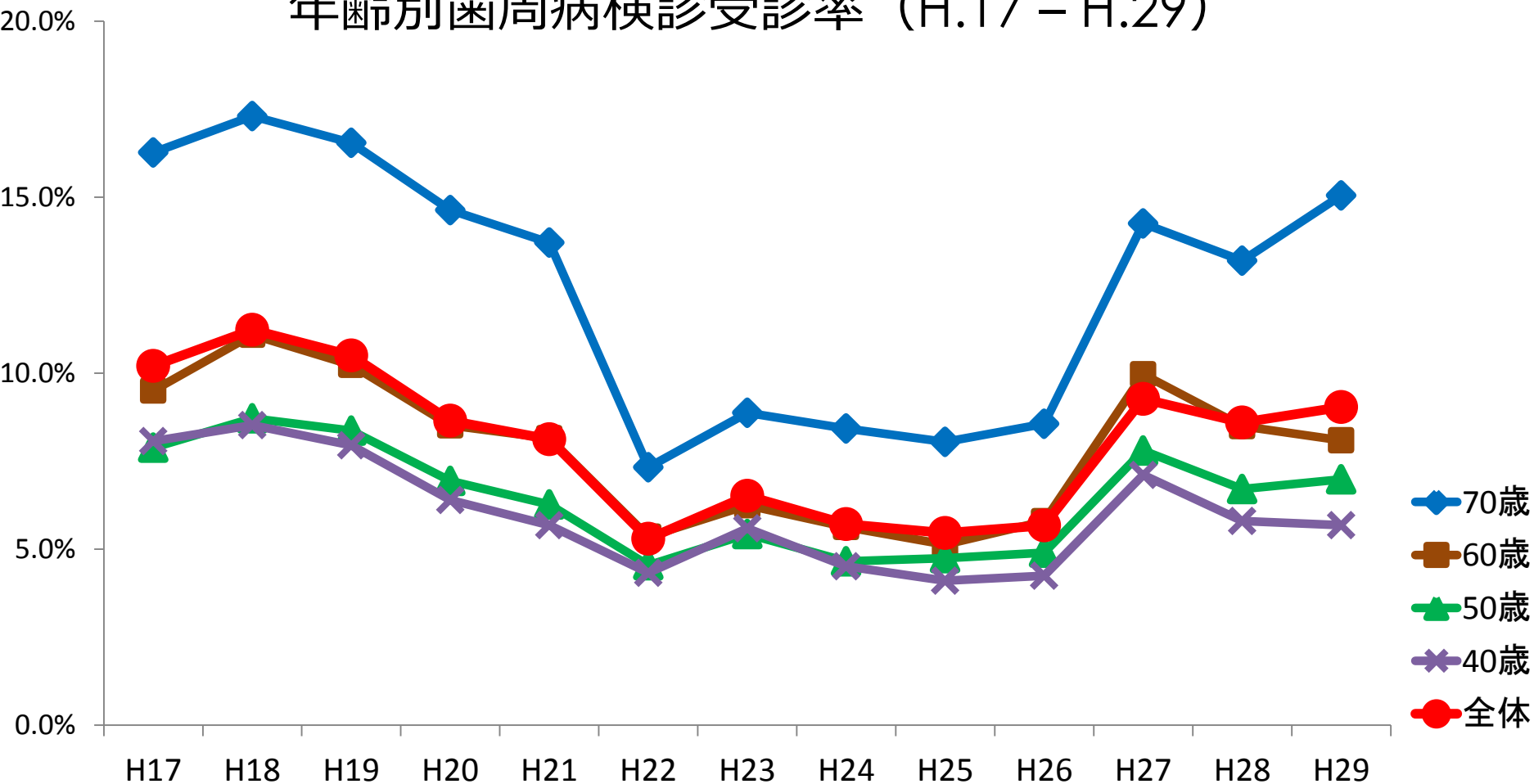
# 5. 歯周病検診受診率の年次推移

## 歯周病検診受診率の年次推移（H13～H29年度）



# 5. 歯周病検診受診率の推移

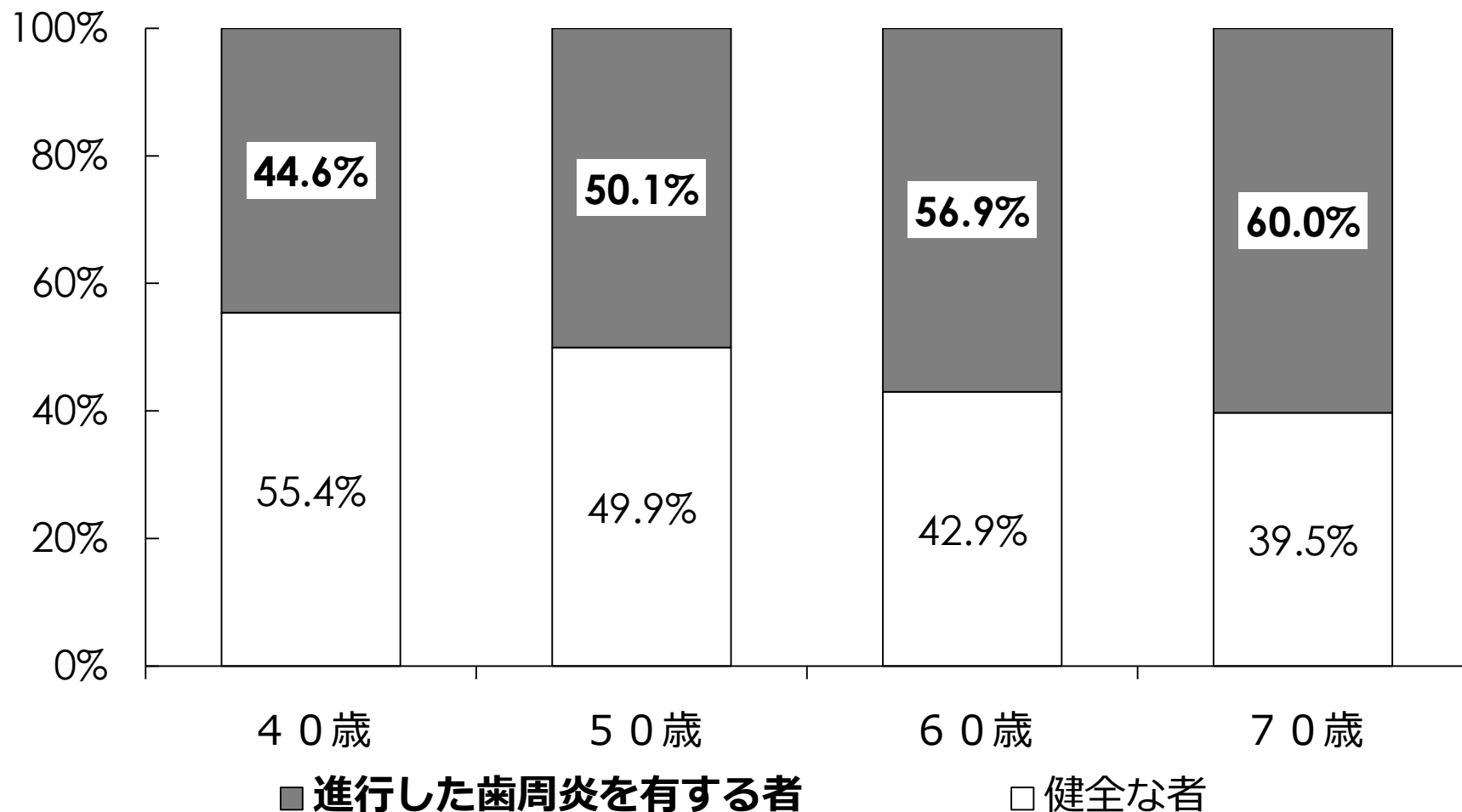
## 年齢別歯周病検診受診率 (H.17 - H.29)



○受診者数は全体的に増加傾向にある。  
○70歳の受診率が最も高い。40、50歳の受診率が低い。

## 6. 進行した歯周炎を有する者の割合

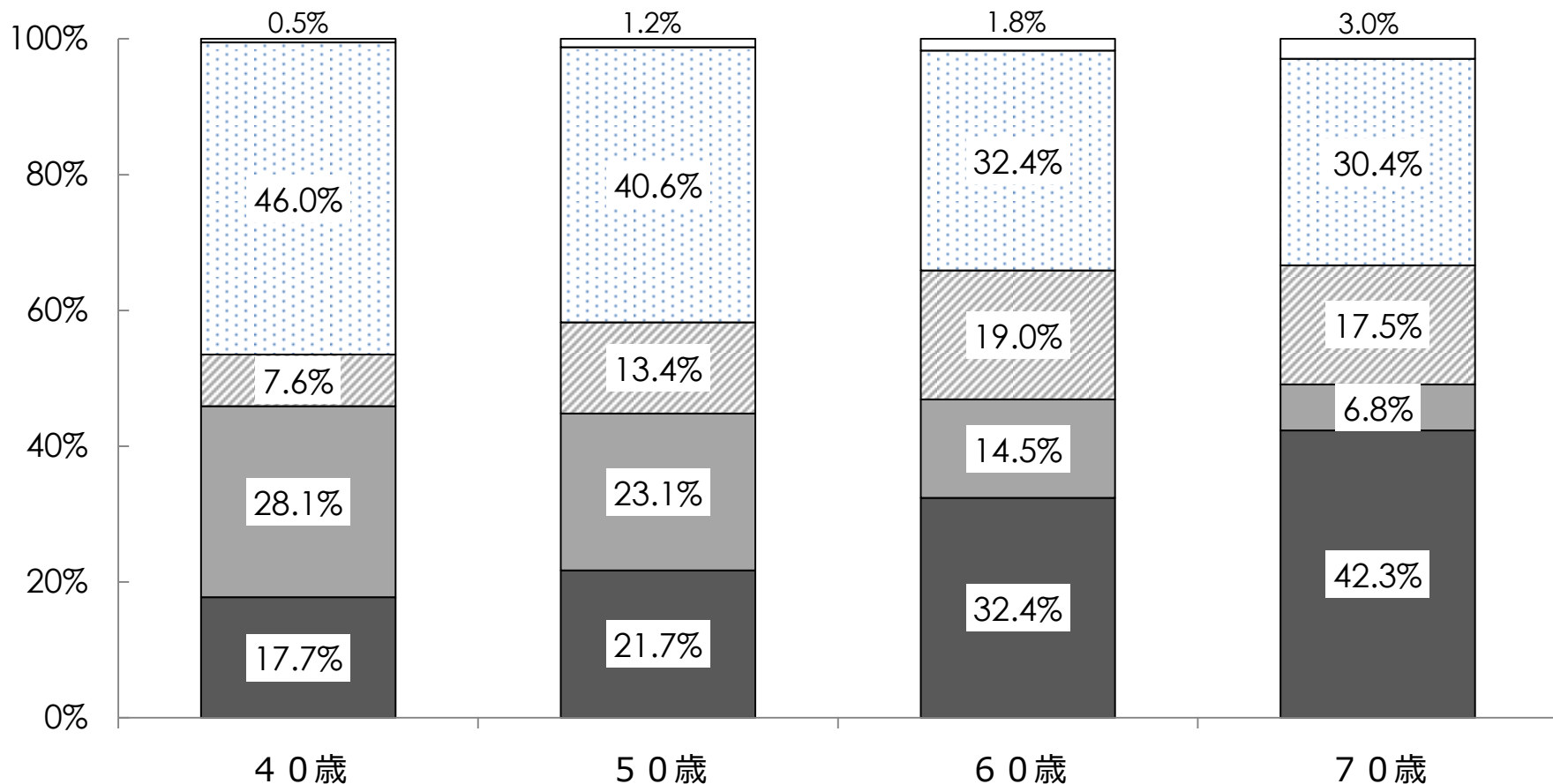
○年齢が高くなるほど「進行した歯周炎を有する者」\* の割合が増加していた。  
\* : Probing Pocket Depth (歯周ポケットの深さ) が、「4～5mmに達する者」と「6mmを超える者」を合わせたもの。



## 7. 歯間部清掃用具を使用している者の割合

○年齢があがるにつれて歯間部清掃用具（歯間ブラシ・デンタルフロス）を使用している者が多くみられる。

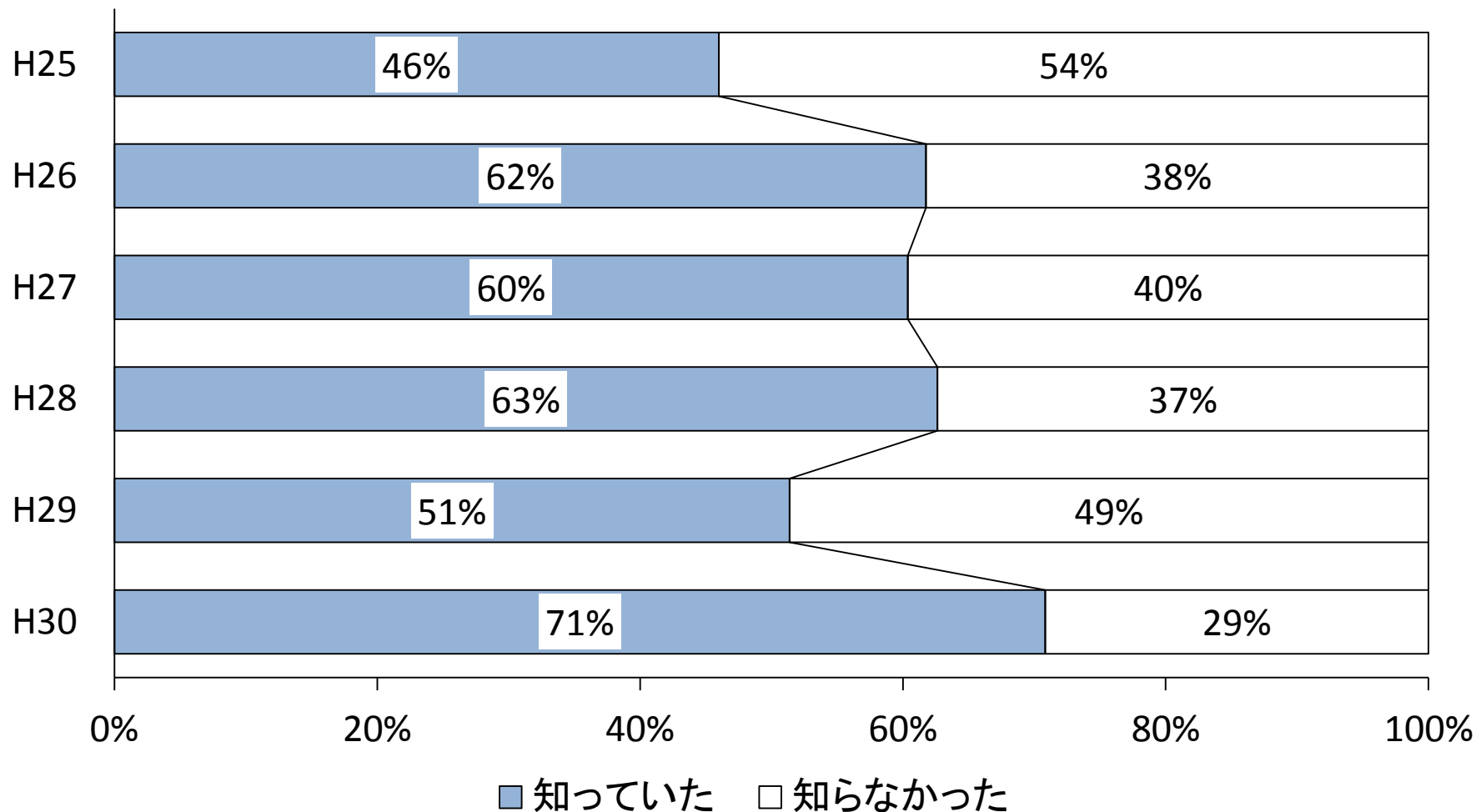
○40歳ではデンタルフロスの使用が多く、60歳、70歳は歯間ブラシの使用が多い。



□無回答 □使っていない ▨歯間ブラシとデンタルフロスの両方 ■デンタルフロス ■歯間ブラシ

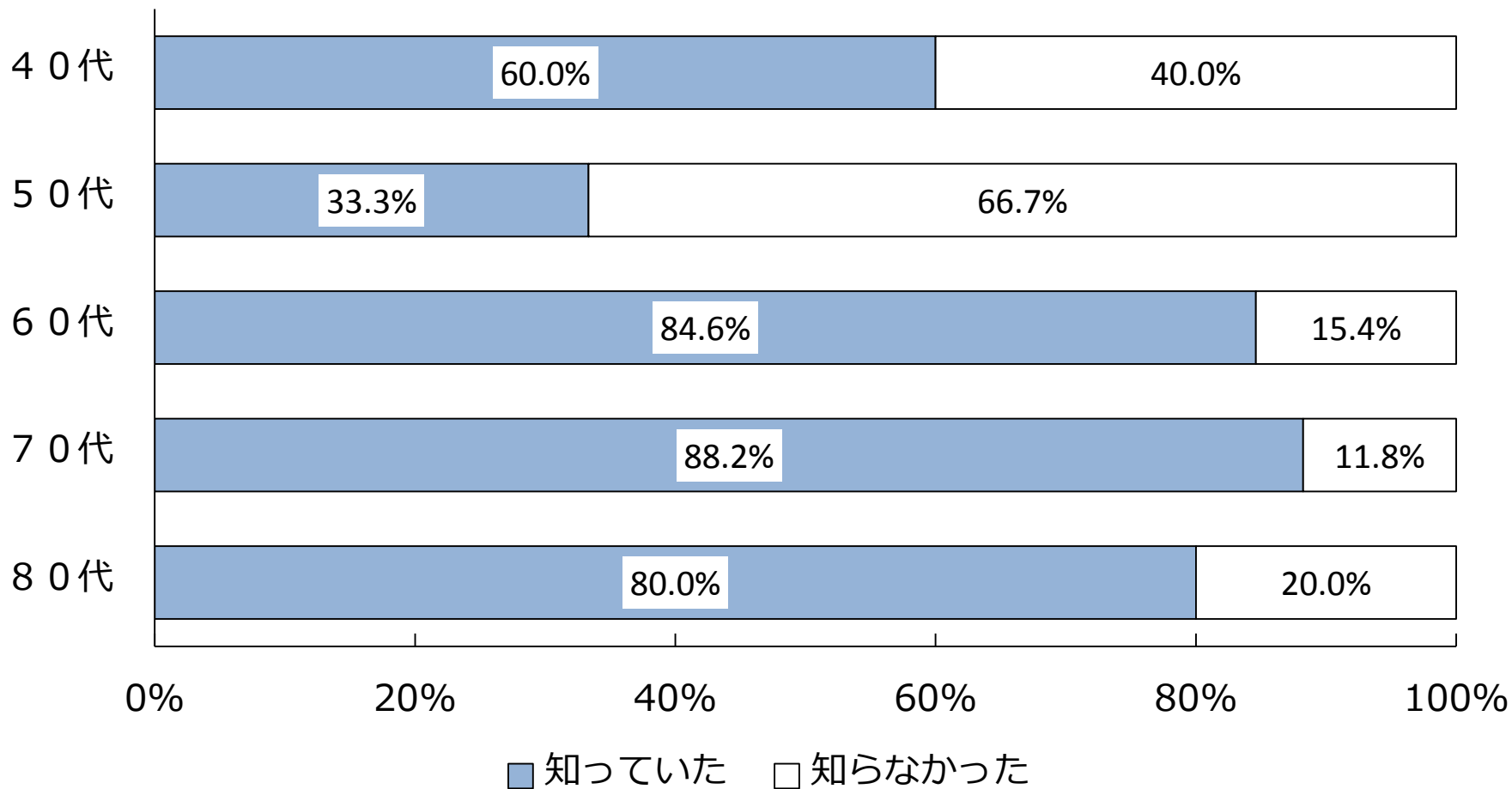
## 8. 口腔体操の認知度（H.25～H.30の比較）

○口腔体操の認知度は増加傾向にある。



## 9. 誤嚥性肺炎予防の認知度（40～80歳代 年代ごと）

- 誤嚥性肺炎予防の認知度は60～80歳代では80%以上であった。
- 全体の認知度は77%で、H25年の49%から増加していた。



n=48

未記入除く

# 10. 千葉市介護予防事業

## ① 歯っぴー健口教室

目的	<ul style="list-style-type: none"><li>○口腔機能の維持・改善</li><li>○モチベーションの向上</li></ul>
対象	65歳以上
実施回数	<ul style="list-style-type: none"><li>① 4回コース</li><li>② 2回コース</li></ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>●口腔機能評価</li><li>●講話（口腔ケア・口腔体操など）</li><li>●実技（口腔体操・音楽療法など）</li><li>●個別歯科相談</li></ul>

# 10. 千葉市介護予防事業

## ②ちばし いきいき体操

目的	<ul style="list-style-type: none"><li>○身体機能の維持・改善</li><li>○地域活動支援 (仲間と一緒に継続して取り組めるような通いの場をつくる)</li></ul>
対象	65歳以上
経緯	高知市開発の「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」を参考に取り組みを開始
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>●DVDを見ながら行う</li><li>●運動編とお口の運動編で構成</li><li>●週1～2回実施する</li><li>●グループで行う</li><li>●運動編はおもりをを用いる</li></ul>



## 口腔機能評価

測定種目		評価	測定
咀嚼力判定ガム		咀嚼能率	5段階評価 (黄・緑・薄ピンク・ピンク・赤)
オーラルディアド コキネシス (発音を利用した 口腔機能の評価)	パ	唇の動き	1秒間に何回発音ができる か。 10秒間で測定し、1秒当たり の回数に換算。(回/秒)
	タ	舌の前方の動き	
	カ	舌の後方の動き	
空ぶくぶくテスト		お口の周りの力	3段階評価 (できる・少しできる・できない)

## 口腔機能自己チェック (はい/いいえ)

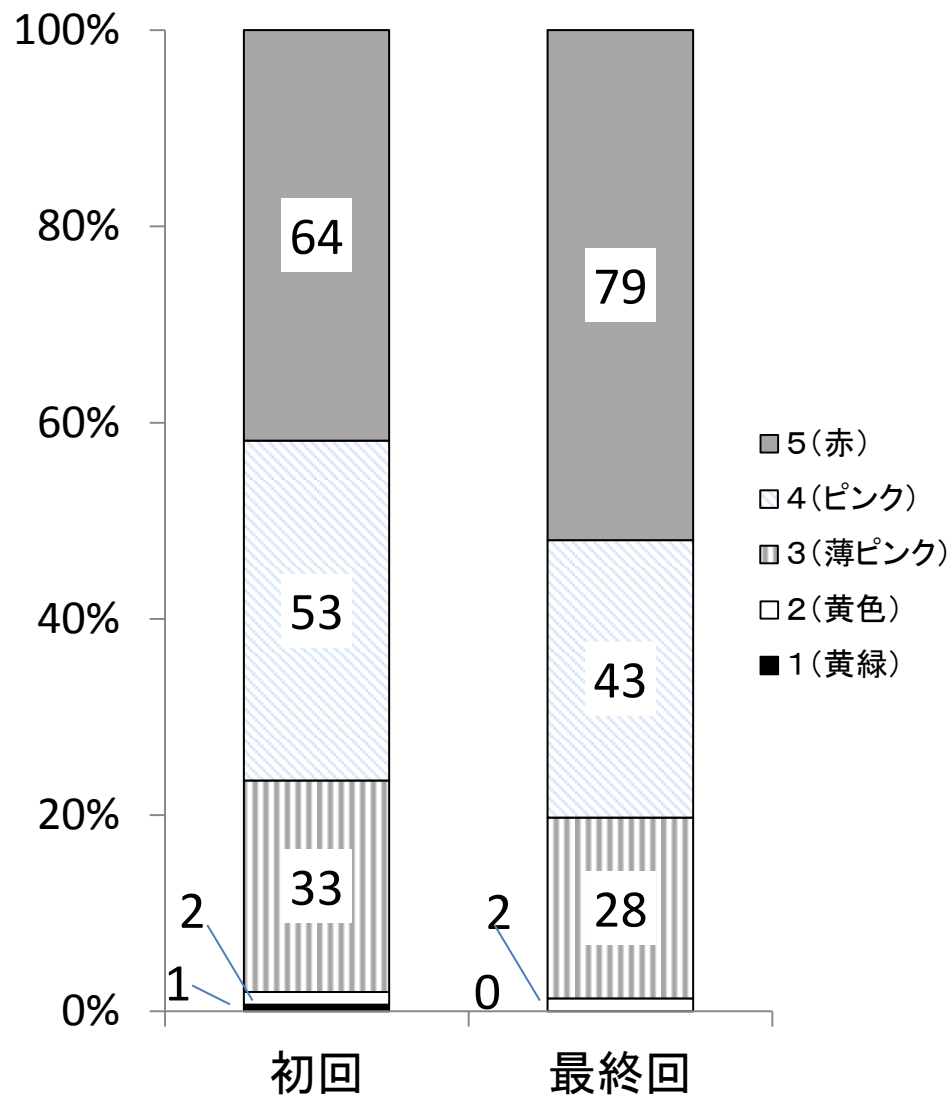
「はい」と回答すると口腔機能が低下している可能性がある。

- ①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
- ②お茶や汁物等でむせることがありますか
- ③口の渇きがきになりますか
- ④薬が飲みこみにくくなりましたか
- ⑤話すときに舌がひっかかりますか
- ⑥口臭が気になりますか
- ⑦食事にかかる時間は長くなりましたか
- ⑧薄い味がわかりにくくなりましたか
- ⑨食べこぼしがありますか
- ⑩食後に口の中に食べ物が残りやすいですか
- ⑪自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりと噛みしめられないことがありますか
- ⑫汚れ（歯、入れ歯、舌）が気になりますか
- ⑬話を聞き返されることがありますか

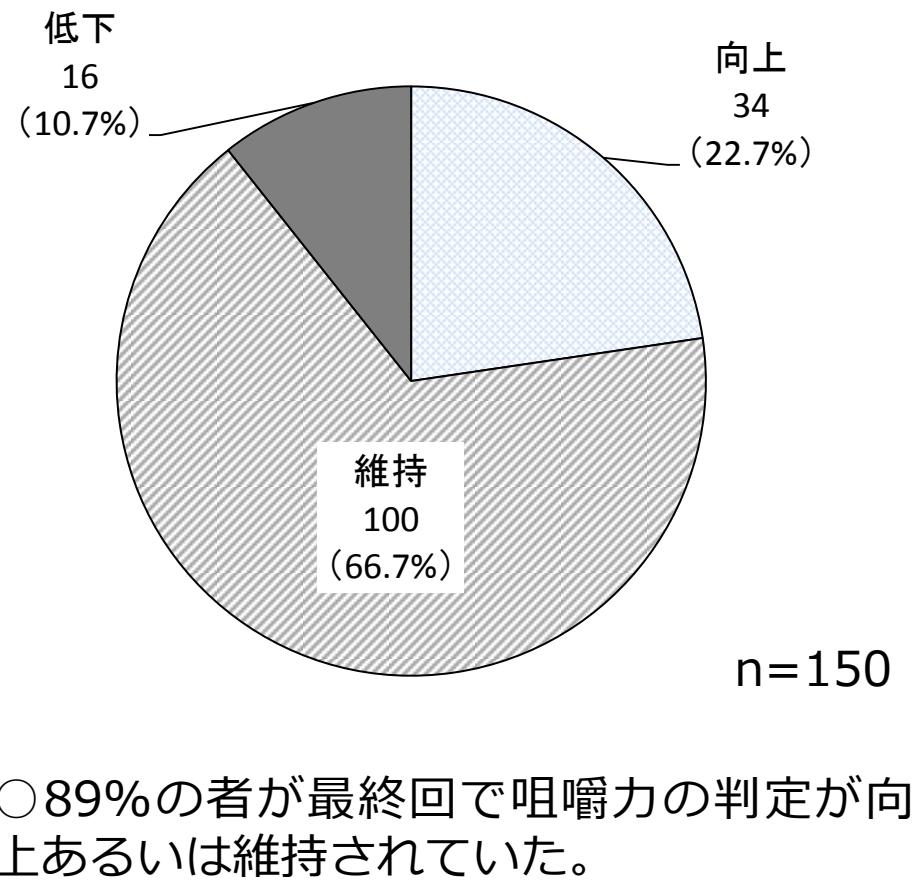
# 歯っぴー健口教室参加者の口腔機能評価の結果 (H.29)

## ②咀嚼力判定ガム

教室初回と最終回の判定結果



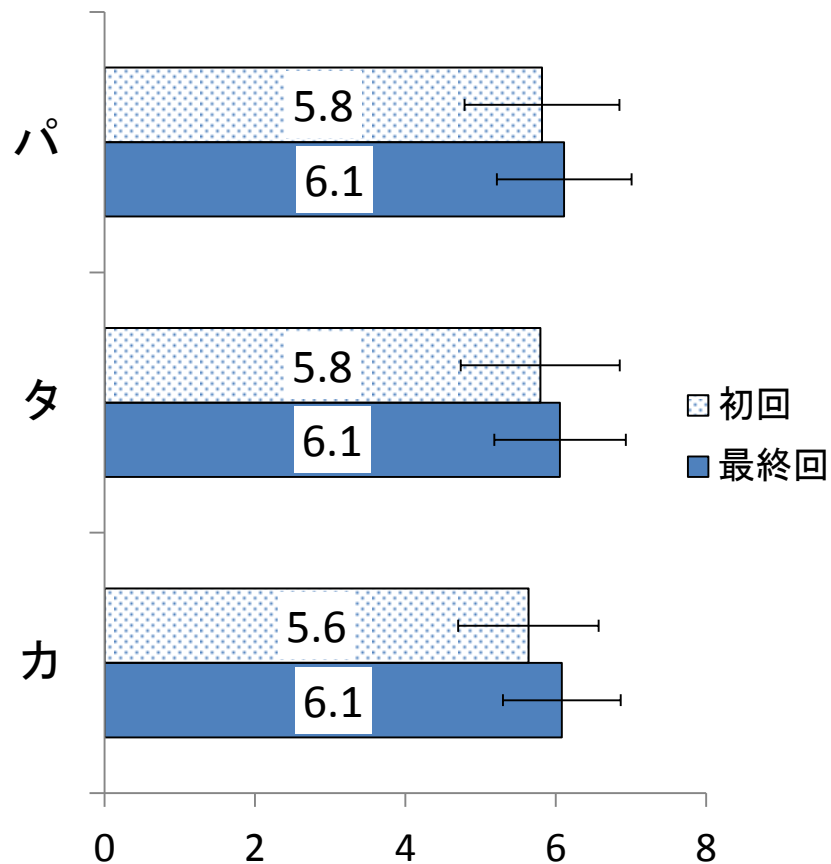
教室初回と最終回の判定結果の変化



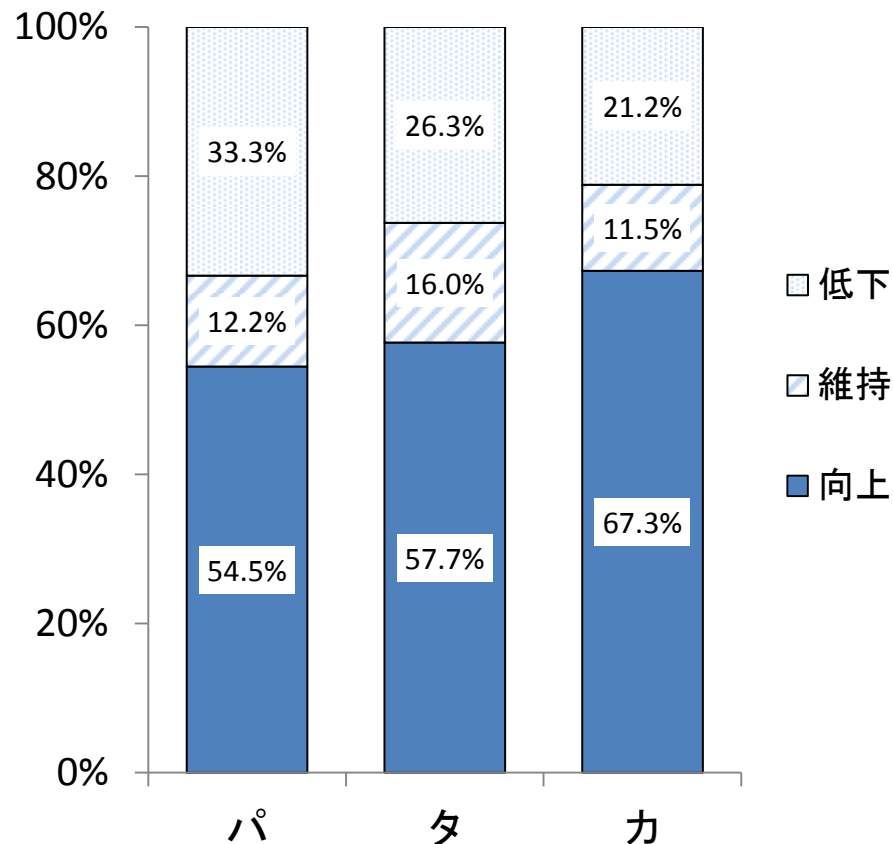
# 歯っぴー健口教室参加者の口腔機能評価の結果（H.29）

## ②オーラルディアドコキネシス

### 各発音の初回・最終回評価の比較



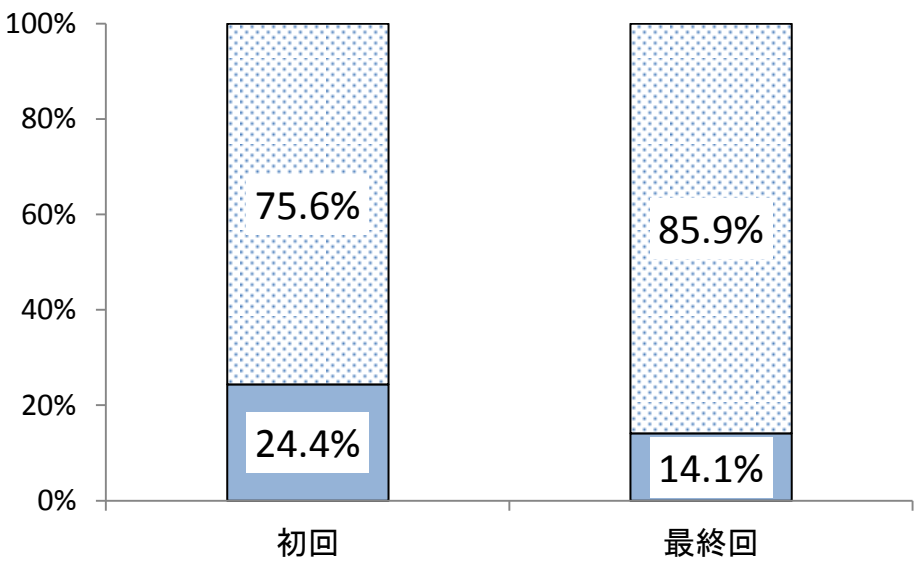
### 教室初回と最終回の判定結果の変化



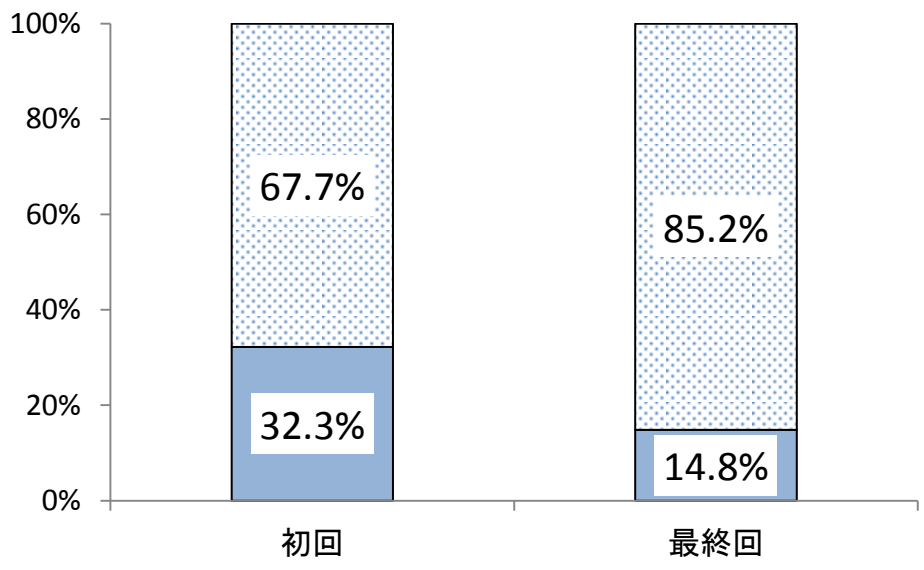
- 各音とも最終回では、初回に比べ回数が増加がみられた。
- 特に「カ」音は向上した者の割合が多かった。

# 歯っぴー健口教室参加者の口腔機能自己チェックの結果（H.29）①

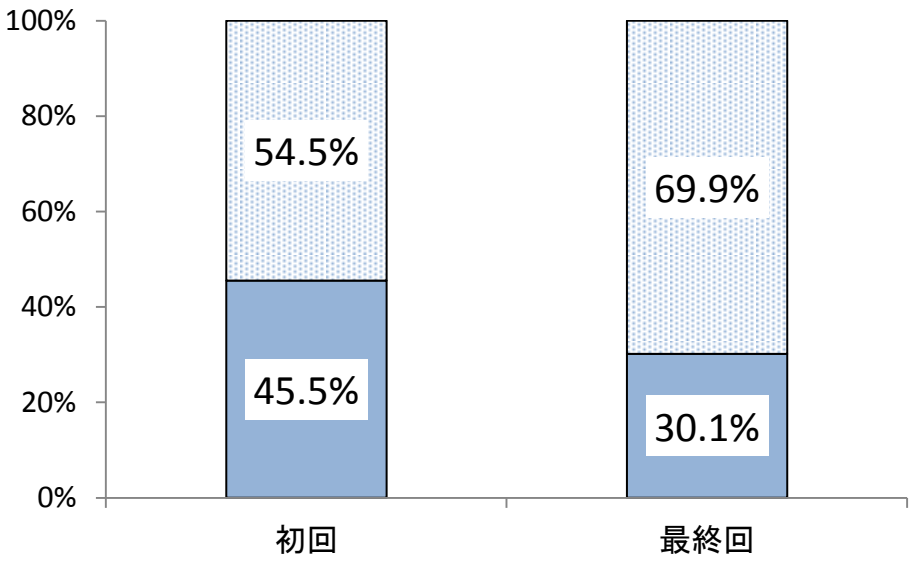
① 固いものが食べにくくなりましたか



② お茶や汁物等でむせることがありますか



③ 口の渇きが気になりますか

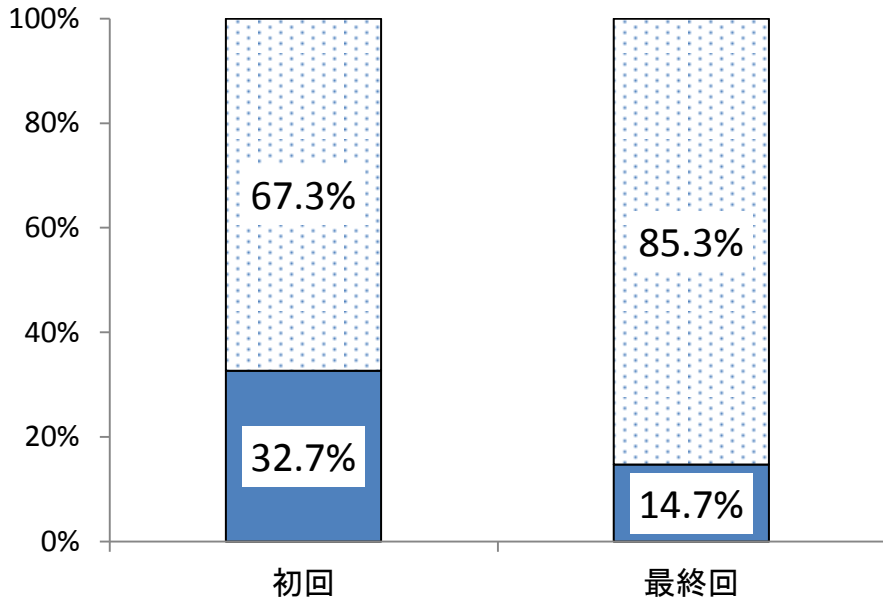


○ ③は初回に「はい」と回答した者がすべての項目のなかで2番目に多かった。最終回でも30%の者が「はい」と回答しており、改善が見られた者が最も少なかった。

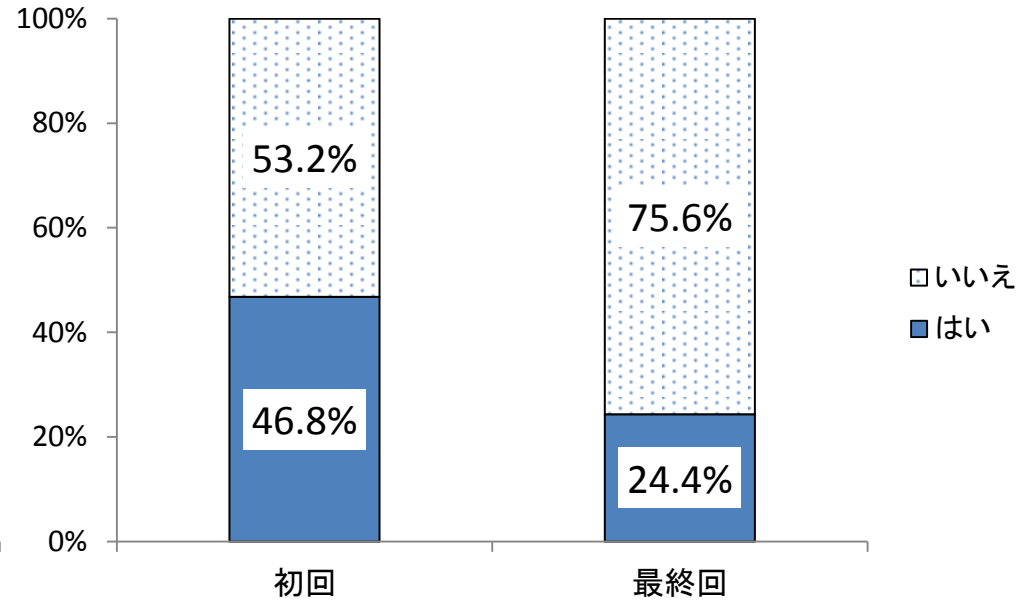
□ いいえ  
■ はい

# 歯っぴー健口教室参加者の口腔機能自己チェックの結果（H.29）②

## ⑥口臭が気になりますか



## ⑫汚れ（歯、入れ歯、舌）が気になりますか



- ⑫は初回に「はい」と回答した者がすべての項目の中で最も多かった。最終回では「はい」と回答した者が半減していた。
- 13のチェック項目すべてで、最終回では「はい」と回答した者が減少していた。